

防災通信 38号

発行日	2015年11月15日
発行責任者	大分県防災活動支援センター 理事長 廣瀬 一策
ホームページ	http://opdo.sakura.ne.jp/

大分県自主防災組織活性化支援センター

防災士スキルアップ研修

1. 玖珠町防災士スキルアップ研修

10月15日 19:00～ メルサンホール 参加者 43名
避難所の運営と開設について 竹田市社協 水野 講師
・各被災地の避難所を自分の目で見て、課題を追及した
うでの講話であり、実際に避難所を開設するためには
有効な知識である。

2. 日田市防災士スキルアップ研修

10月18日 10:00～ 日田市役所7階会議室 46名
家具・器具固定について 財前理事
・今回は大道具を持ち込めない場所であり、財前理事本人
制作の家具固定セットを使用。日田市は防災士の意識も
高く、座学、実演等にも熱の入ったものになった。

3. 豊後大野市防災士スキルアップ研修

11月 5日 19:00～ 市役所1階会議室 64名
避難所の運営の基礎知識 国東市社協 藤原 龍司 講師
・避難所運営がなぜ重要か！に始まり、避難所生活を快
適なものにするための3つの基本等交えて講話。防災士
の活動は防災/減災を切り口とした地域づくり活動である。
自分たちの地域は自分たちで守るコミュニティづくりをする事
で締めくくった。

4. 日田市防災士スキルアップ研修



11月 8日 10:00～ 市役所7階会議室 24名
災害図上訓練(DIG)中級コース 川村 正人 講師
・参加者が予定よりかなり少なくなっており、気落ちしたが、
研修を進める中でみなさんの真剣さが伝わってきた。
ワークショップを経験したことのない女性防災士が「みな
さんの色々な意見を聞いて大変参考になった」と感想を
述べて帰った。

防災士養成研修

1. 宇佐市会場（中津市・宇佐市・豊後高田市）

10月17、18日 ウサノピア 参加者 宇佐市43名
中津市33名 豊後高田市36名 その他3名 欠席6名
会場使用料があり、開場までの待ち時間で受講者に迷惑
をかけたと考えるが、受講者も事情を解って戴き、受講の
態度もまじめであった。



研修の様子(宇佐市会場)

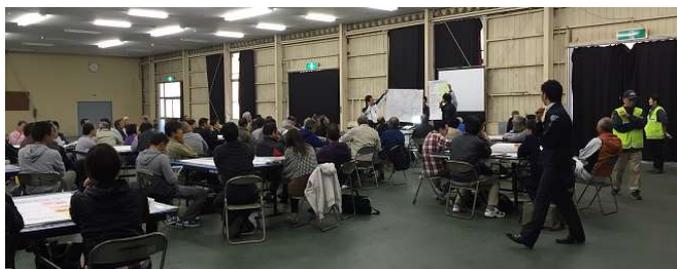
2. 竹田市会場（竹田市・豊後大野市）

竹田市役所3階会議室

10月24、25日 参加者 竹田市21名 豊後大野市37名
合計58名 欠席4名

初日のDIGの班編成でトラブルあり。名札の裏の確認を
怠った。竹田市防災士会棚田副会長が終日見守っていた
のには感心した。

3. 杵築市会場（杵築市・国東市・姫島村）



10月31、11月 1日 杵築社会福祉センター
参加者 杵築市66名 国東市23名 姫島村4名
その他7名 合計93名 欠席 6名
DIGは会場を変えて、卓球台を机とし14班で編成した。
研修会場は机が不足気味で準備が大変でした。

防災ア"バ"イ"業務

1. 大分市三川下東防災会防災研修

10月18日 10:00～ 三川下公民館 参加者56名
清松事務局長講師 地域の防災対策について講話
消防団が訓練開始を広報し、指定避難所である桃園小学
校まで住民を防災会役員と共に誘導し、連携がうまくでき
ていた。豚汁の炊き出しもおいしかった。

2. 大分市三川上西防災会防災研修

10月18日 10:00～ 三川上公民館 参加者 60名
池永副理事長講師（補助 上山）
津波被害が予想される地域だけに、防災意識は高く、
訓練は毎年実施されている。今回は東日本でのボランティア
活動の体験談を含めて講話。

3. 大分市堂園自主防災会防災研修

10月24日 10:45～ 大野川防災センター 参加者 87名
財前理事講師
気象・地震に関する研修で実施。
講話時間が30分だけで十分な話が出来なかった。

4. 由布市挾間町喜多里防災会防災研修

10月25日 10:00～ 喜多里公民館 参加者 74名
清松事務局長講師
花宮気象予報士の地元であり本人からの講話依頼による。
災害発生時の家庭の備え・団地としての備えについて講演

5. 日田市清水町防災会防災研修

11月 6日 19:00～ 貞清公民館 参加者 29名
清松事務局長講師 (補助 川村)
避難所での生活ルール作りを通じて運営の理解を深めた。



6. 大分市雄城地区防災会防災研修

11月 8日 9:30～ 新生支援学校体育館 参加者 80名
財前理事講師
災害時の行動、防災訓練の必要性等を含めて講話防災グッズの説明も実施。

豊後高田市事業

1. 宮町1, 2, 3区合同防災研修会

10月29日 13:00～ 宮町2区公民館 参加者24名
一水、畔津 講師
地震・津波を想定し災害図上訓練。訓練終了後、避難場所のNTTビルへの避難を想定して、避難路を全員で歩いた。ビル内はよく整備され、避難場所としてはよい場所である。

2. 新町2区防災研修

11月11日 18:00～ 音羽山集会所 参加者 15名
廣瀬理事長、一水講師
7年位前に自主防災組織を立ち上げ組織化したが、当時の役員も今では高齢化し現状にそぐわない形である。これを機に再度立ち上げる事になった。

学校防災アドバイザー業務

佐伯市立大入島小学校

10/14(水)9:00～11:00
・9:20校内放送→グラウンド→裏山へ避難
・訓練後の講演は、クロスロードを実施

佐伯市立佐伯東小学校

10/15(木)9:00～11:00
・9:00校内放送→グラウンド→トンネル前高台へ避難
・日常の訓練と学習の成果がうかがえた

別府支援学校鶴見校

10/16(金)10:30～11:50
・火災避難訓練
・生徒と先生が1:1対応していた

日出支援学校

10/29(木)10:00～12:00
・熱心な取り組み
・わかりやすいマニュアルづくりをしている

佐伯市立楠本小学校

11/1(日)13:00～15:00 地区の避難所めぐり(防災街歩き)
・地域の避難訓練に参加し、地域との連携がとれていた

津久見市立堅徳小学校

11/5(木)
9:40～11:00
・1次避難
・2次避難
・講評
1、2年生は、
地区避難訓練の避難地へ合流。権現様境内へ避難



大分東高等学校

11/6(金)12:50～14:40

佐伯市立名護屋小学校森崎分校

11/10(火)9:30～11:40 ・教室→グラウンド→西光庵
・1次避難
・2次避難
・講評
・注意事項
・意見交換を実施。



西光庵にて先生の講評を聞く児童たち

大分商業高等学校

11/13(金)13:10～15:00 雨天の為 屋外避難訓練は中止
・放送→屋内避難路3箇所→体育館
・DVD鑑賞後、清松事務局長の講話16分
・生徒の避難態度は改善の必要があると感じた

(一水 記)